

M16Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.5.44 Release 00 ご使用上のお願い

M16Cシリーズ*用Cコンパイラパッケージ(M3T-NC30WA) V.5.44 Release 00の 使用上の注意事項を連絡します。

* M16C/60, /30, /20, /10, /TinyおよびR8C/Tinyシリーズの総称です。

- MISRA CルールチェッカSQMlintを使用する場合の注意事項

1. 内容

統合開発環境High-performance Embedded WorkshopでSQMlintを使用する場合、SQMlintのオプション `-ignore_files_misra*`を使用するとコンパイルエラーが発生する場合があります。その際のエラーメッセージは以下のとおりです。

```
nc30: Invalid suffix
```

*任意のファイルをMISRA C検査対象外とするオプション

2. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) MISRA C ルールチェッカ SQMlint V.1.02 Release 00 または V.1.03 Release 00 を使用している。
- (2) High-performance Embedded Workshopのオプション設定ダイアログボックスで、オプション `-ignore_files_misra`の対象として2つ以上のファイルを指示している。

3. 回避方法

以下の手順で回避してください。

- (1) 以下の手順でオプション`-ignore_files_misra`の対象ファイルを削除する。
 - a. High-performance Embedded Workshopの「ビルド」メニューから Renesas M16C Standard Toolchainコマンドを選択してRenesas M16C Standard Toolchainダイアログボックスを開く。

- b. 「コンパイラ」タブの「カテゴリ」プルダウンリストから「MISRA C ルール検査」を選択する。（この時、「MISRA-Cの検査を有効にする」チェックボックスがチェックされている。）
 - c. 「拡張設定」ボタンをクリックして開く「拡張設定」ダイアログボックスにオプション-`ignore_files_misra`で指定されたファイル名がリストされるので、すべてのファイル名を選択して「削除」ボタンをクリックする。
 - d. 「拡張設定」ダイアログボックスを閉じる。
- (2) 削除した対象ファイルを、以下の手順で再度指示する。
- a. 「コンパイラ」タブの「カテゴリ」プルダウンリストから「その他」を選択する。
 - b. 「ユーザー指定オプション」ボックスにオプション-`ignore_files_misra`とファイル名を入力する。
ファイル名が`stdio.h`および`string.h`の入力例：
`-ignore_files_misra stdio.h,string.h`

4. 恒久対策

次バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。